

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

顔面に発生した医療関連機器褥瘡の特徴と治癒期間に関する後ろ向き観察研究

[研究責任者]

長崎医療センター 形成外科 医師 吉田 大作

[研究の背景]

医療関連機器（酸素マスクや点滴のチューブ）による圧迫で生じる皮膚表面やその下にある組織までにおよぶ損傷を、医療関連機器褥瘡（MDRPU：Medical Device Related Pressure Ulcer）と呼びます。MDRPU ができやすい部位として、一般病院では首まわりを含む顔や足、介護施設では足、訪問看護では首まわりが多いと報告されており、顔にできるケースが比較的多いことも特徴です。顔にできた MDRPU は、見た目に影響するため、患者さんにとって大きな精神的ストレスとなることがあります。また一般的な褥瘡（床ずれ）と比較し、生活の質（QOL）に直接関わったり重要な問題になることがあります。このように、顔にできる MDRPU は、医療の現場でも社会的にも特に注意すべき事象といえます。

MDRPU に対して医療従事者が行うべき重要な対応は、まず発生を防ぐこと、そして発生した場合には適切な処置によって早期に治すことです。そのためには、発生する部位ごとの特徴を理解しておく必要がありますが、顔にできる MDRPU については、他の部位と比べ、その特徴が十分に明らかになっていません。

[研究の目的]

当院で過去に発生した MDRPU の症例をもとに、顔にできたケースと他の部位にできたケースを比較し、顔にできる MDRPU の特徴を調べ、どのような傾向があるかを明らかにすることを目的としています。

本研究結果により、顔における MDRPU の発生を予防するための重点的な対策が求められるハイリスク患者や、臨床的状況などの基礎資料となることが期待されます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2024 年 4 月 1 日から西暦 2025 年 3 月 31 日までの 1 年間に長崎医療センターで MDRPU を発生した方

●研究期間：倫理審査委員会承認日～西暦 2026 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

- ①患者情報（年齢・性別・入退院日・入院の契機となった疾患）
- ②使用された医療関連機器の種類・使用期間（装着日と終了日）とMDRPUの発生日・部位・深達度・治癒日
- ③個体要因（体格指数、血中アルブミン値、血中ヘモグロビン値、糖尿病の有無、悪性腫瘍合併の有無）

●情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用的拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター
形成外科 医師 吉田 大作
電話番号：0957-52-3121（代表）